

市政記者クラブ 様

防災危機管理局想定最大規模災害対策推進課

担当：成瀬、山田

電話：972-4252

想定し得る最大規模の風水害に係る被害想定及びリスクシナリオについて

～名古屋市に大規模風水害が発生したら～

出水期に入り、大雨や台風など風水害の発生リスクが高まる時期となります。

これまで本市では、「想定し得る最大規模」の風水害に対応したハザードマップを全戸配付してきましたが、加えて、災害を「自分事」として捉え、さらなる備えにつながるよう、「想定し得る最大規模」の風水害に係る被害想定及び風水害リスクシナリオを作成することとし、有識者等による検討を重ね、この度、6月7日の防災会議にてその内容が報告されました。

この風水害リスクシナリオの周知・啓発を行い、市民一人ひとりが主体的に避難行動や事前の備えができるよう理解促進を図ります。

1 本日の配付物

被害想定（概要）	ハザードマップのような状況になった場合の市民を取り巻く状況がイメージしやすいよう、建物被害や人的被害、ライフライン被害の状況を算出したもの
風水害リスクシナリオ	風水害等が発生した場合に身の回りで起こる状況や影響・被害等を時系列で具体的にイメージできるように整理したもの

2 市民に伝えたいこと

- 想定し得る最大規模の風水害により多くの市民が浸水やライフラインの停止などの被害を受ける可能性があります。
- 風水害は多くの場合、事前に予測できるため、災害が差し迫った際の自らの行動をあらかじめ決めておくマイ・タイムラインの作成が効果的です。
- あらかじめ避難行動を考えるにあたっても、身近な学校体育館などが浸水する可能性や、自宅の上階が浸水しなくても長期的な浸水の継続で孤立してしまうことも想定し、浸水区域外の親戚・知人宅やホテルなども含め、多様な避難先を考えておくことも大切です。
- この風水害リスクシナリオを活用していただき、風水害を「自分事」として捉え、災害から自分や大切な家族の命を守るため、市民一人ひとりが主体的に避難行動や事前の備えをしていただきますようお願いいたします。

データ版掲載場所

名古屋市 風水害

検索



詳細はこちら